ALE、惑星探査へ新たな一歩。
～人工流れ星の技術を、小惑星「アポフィス」探査に活用～

株式会社 ALE（代表取締役 CEO：岡島礼奈）は、これまで人工流れ星による宇宙エンターテインメント事業「Sky Canvas」を展開してきました。
このたび、当社は“流れ星の放出技術”を応用し、小惑星探査分野へ本格参入することを発表いたします。

◆ **探査対象は「アポフィス」―― 2029 年、地球最接近**

探査対象となる小惑星「アポフィス（Apophis）」は、2029 年 4 月に地球から約 32,000km まで接近する天体です。
この前例のない接近機会にあわせ、ALE は独自の技術を活かし、探査ミッションに参画します。

◆ **ExLabs 社との契約締結：国際探査「ApophisExL」へ参画**

ALE は米国の宇宙探査企業 ExLab 社と契約を締結。国際探査ミッション「ApophisExL」において、当社は「低エネルギーマルチインパクト実験」装置を搭載予定です。
これは微小物体を小惑星表面に衝突させ、構造や物理特性を科学的に解明する実験であり、**将来の宇宙資源探査やプラネタリーディフェンスに資する基礎データ取得**が期待されます。

▶ 詳細リリースはこちら：
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000027.000042372.html

◆ **東京大学と共同研究契約を締結**

あわせて、東京大学大学院理学系研究科 橘省吾研究室と共同研究契約を締結。
実験の有効性・影響評価を行い、小惑星表面の構造理解やリスク分析への応用を目指します。
ALE の人工流れ星技術が、初めて本格的な科学探査へ転用される取り組みとなります。

▶ 詳細リリースはこちら：
https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000026.000042372.html

◆ **科学と社会をつなぐ“技術の進化”**

流れ星で人々の心を動かし、探査で科学を前に進める。
ALE は、これからも**「科学を社会につなぎ、宇宙を文化圏にする」**というミッションのもと、技術と感動を融合した価値創造に取り組んでまいります。

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社 ALE 広報担当
pr@star-ale.com
https://star-ale.com